

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社福井銀行（証券コード: 8362）

【見直し変更】

長期発行体格付
格付の見直しBBB+
安定的 → ポジティブ

■格付事由

- 福井市に本店を置く地方銀行で連結子会社の福邦銀行を含めた資金量は3.4兆円。2行は26年5月に合併する予定である。2行合算の県内シェアは預金が4割台半ば（ゆうちょ銀行を除く）、貸出金が約5割と高く、地元で高いプレゼンスを有している。基礎的な収益力は貸出金残高の伸びやフィービジネスの推進などを通じて大幅に強化され、今後も高まる方向にある。貸出資産の質は保たれており、市場部門ではリスクの抑制に向けた取り組みが進捗している。信用力向上のポイントである中核的な資本水準については足元で上昇し、今後も比較的速いペースで改善が進むとみられる。以上を踏まえ、格付の見直しを「ポジティブ」へ変更した。JCRでは、資本充実度の改善の進捗などに注目していく。
- 収益力は「A-」の地域銀行と比較しても遜色のない水準まで高まっている。0.1%前後で推移してきた2行合算のROA（コア業務純益ベース。投信解約損益を除く）は、統合関連費用などの一時的な要素を除けば、26/3期上半期0.3%前後まで上昇している。コア業務純益（投信解約損益、統合関連費用を除く）は、預貸収支と役務収益の伸びを主因として、25/3期112億円と直近ボトム時（21/3期27億円）の4倍を上回り、26/3期第3四半期累計も増益基調にある。今後は本部機能の統合などで捻出した人材の活用により、貸出業務やフィービジネスへの取り組みが一段と強化され、また、福邦銀行との合併に伴うコストシナジーが顕現化していくことで、基礎的な収益力はさらに高まっていくとJCRはみている。
- 貸出資産の質はおおむね良好である。大口集中リスクはやや高いが、2行合算の金融再生法開示債権比率は1%台半ばと低く、分類率は抑制されている。近年強化しているストラクチャードファイナンスに関しては、案件の小口分散を図りながら推進している。基礎的な収益力が高まっており、与信費用が期間損益対比で多額となる可能性は低いとJCRはみている。
- 市場部門で抱えるリスクはやや大きい、低下傾向にある。円建債券の金利リスク量は、保有債券のロスカットやデュレーションの短期化により、おおむね抑制された水準まで縮小している。投信の保有残高は資本対比で大きい、保有株式の売却益などを活用しながら残高の縮減を進めている。
- 資本充実度は改善傾向にある。調整後連結コア資本比率は26/3期上半期末で7%台半ばと直近1年で0.5ポイント程度上昇した。当行は資本水準を引き上げる目標を掲げ、内部留保の蓄積とリスクアセットのコントロールに努めている。財務運営方針に加え、最終利益の水準が従前より高まっていることなどを考慮すれば、今後も資本水準の改善は比較的速いペースで進んでいくとJCRはみている。

（担当）木谷 道哉・高澤 俊太郎

■格付対象

発行体：株式会社福井銀行

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	BBB+	ポジティブ

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年3月23日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：木谷 道哉
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「銀行等」（2021年10月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社福井銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル